

「産婦によりそう助産ケア」

(報告)

「産婦によりそう助産ケア」をテーマに、妊娠期からの妊婦さんのかかわりや分娩中のケア、分娩後の継続した母乳や育児へのケアなど妊産褥婦さんに対しての助産ケアについてさんSUN助産院の院長大橋先生にご講演頂きました。

講師： 大橋 久美子氏 (さんSUN助産院 院長)

日時：11月26日(日) 10:00~12:00

会場：鹿児島市勤労者交流センター7階 第一会議室 (鹿児島中央駅前キャンセビル内)

参加者：18名(会員9名、非会員3名、学生7名)

【講演】

大橋先生より、助産師になられた経緯や、助産師としての原点についてお話して頂きました。先生の経験談をもとに、助産師の専門性や助産師とは何かを改めて考えることのできた時間となりました。学生も多数参加して頂いたため、助産師としての将来を考える機会となったと思います。

【アンケートより感想】

- 今回の研修で涙が出そうになるくらい感動しました。こんなにも母子のことを想っている方がいらっしゃる…。助産師はそうあるべきだと思うし、そのように理想を抱いていたのに、勤務助産師で業務に追われてできていなかった、と初心に返ることができました。
- もっといろいろなことに目を向けて、今当たり前に行っていることにも疑問を持って、学習・技術力アップのために、もっともっと頑張っていきたいと思いました。助産師の潜在している力をもっと発揮できる世の中になるよう、私たち自ら動きださなければならないと思いました。貴重なお話ありがとうございました。
- 大橋先生の話聞いて、「お母さんをほめる、認めることの大切さを感じました。今後、働き始めた際にはこのことを念頭において、お母さんと関わっていきたいです。
- 学生の身ではありますが、どのようなかかわりをして女性と接していったらよいか、子育てなどの相談の際にこたえるためのアドバイスとして受けることができました。貴重なお話をありがとうございました。
- 来てよかったです。たくさんの言葉をもらいました。お母さん方にこう伝えていたらいいかも・・・というヒント、そして学び続ける大切さも再認識です。
- 具体的な声かけやケアの方法を学ぶことができ、とても分かりやすかったです。大橋先生の熱い思いを聞き、今後も自己研鑽していこうと思いました。
- 今回の研修会に参加させていただけてとてもよかったです。勤務助産師の方のお話はよく伺うのですが、開業助産師の方のお話はとても貴重でした。地域に根差してこそ助産師だと思っています。病院に勤務してもそのことを忘れないようにしたいです。

